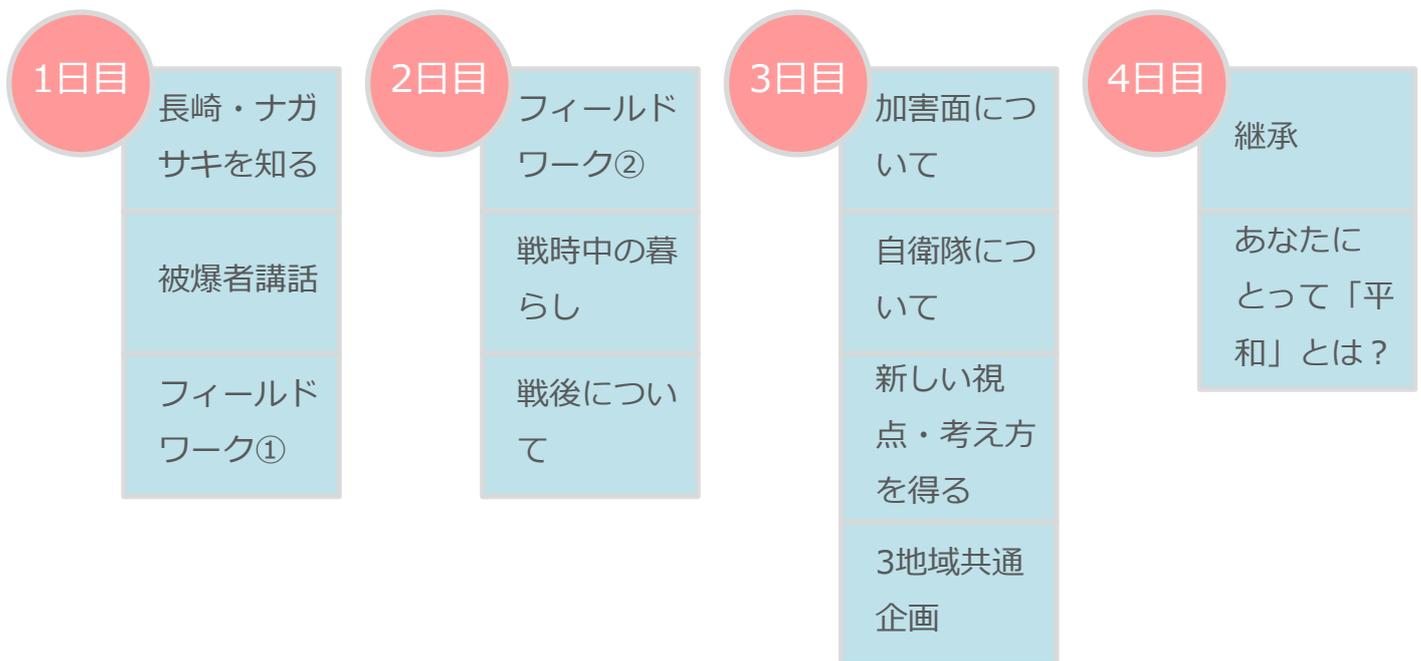


● 獲得目標

- ①五感を使って、ナガサキの地や今も残る想いを知る。
- ②ナガサキのあらゆる面に触れ、物事を多角的な視点で捉える。
- ③現代に起こっている問題を普段の生活に結び付けて平和を考えることができる。
- ④自らが考える平和を自分の言葉で伝えられるようになる。

● 企画の流れ



● 企画の内容

企画1「アイスブレイク」

自己紹介とワードウルフを通して4日間を共に過ごす班員と仲良くなり、学びの時間に入るための準備の時間となりました。

企画2「Peace Now! Nagasaki 0時間目」

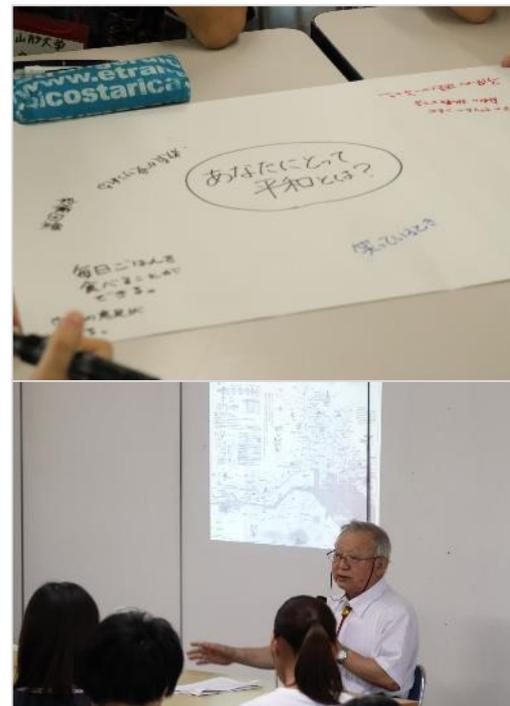
長崎がどのような場所なのかを知り、4日間の学びの土台づくりの時間でした。「あなたにとっての平和とは？」を考える場面では、「なんだろう？」「どう表せばいいんだろう？」と悩む参加者が多くいました。

企画3「声を通して想いを受け取る時間」

被爆者の木戸季市さんからお話をいただきました。「人間らしさを失った」「3度被爆した」といった言葉が印象に残った参加者が多く、原爆の恐ろしさを実感していた様子でした。

企画4「ナガサキを巡る1日目」

平和公園や被爆クスノキなど、いまでも原爆の被害を伝える遺構を巡りました。式典前日の街の雰囲気や原爆の恐ろしさをフィールドワークを通して感じ取っていました。



企画5「ナガサキを巡る2日目」

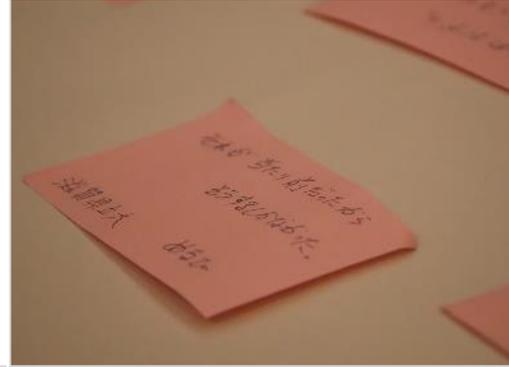
平和祈念式典に参加し、長崎の街全体が平和を願う瞬間を体験しました。長崎原爆資料館などの資料館や小学校にある遺構を巡り、人々の生活に思いを馳せたり、以降に関する問題を知る機会となりました。

企画6「暮らしの中の戦争」

戦争によってどのように人々の暮らしが変化していったのかを知り、参加者は「平和とは」「自由とは」を考える時間でした。戦時中の暮らしに苦しさや怖さを感じました。

企画7「戦後長崎と向き合う時間」

戦後、原爆投下後の長崎を生き残った人々に焦点を当てた時間で、いまでも原爆によって苦しんでいる人がいることから「ナガサキはまだ復興していない」と感じる人が多くいました。また、被爆者が差別に苦しんだことや長崎くんちなどの文化が戦争の復興事業であったことから、原爆投下の被害の二面性に気づくことにつながりました。



企画8「ここ長崎での加害面と戦時中の日本の加害面」

第二次世界大戦中の日本軍の考え方に触れるために、岡まさはる長崎平和資料館を見学しました。日本の「加害面」を知る機会はありませんでしたが、衝撃を受けましたが、自ら知ろうとすることの大切さを感じました。

企画9「歴史からみた加害面と現代からみた加害面」

私たちがよく利用するSNSで、情報の真偽がわからないまま、知らず知らずのうちに拡散してしまうことや、差別とは何かということが問題提起され、「加害」について考える時間でした。私たち自身の行動を見直すきっかけにもなりました。

企画10「自衛隊の時間」

自衛隊の役割や自衛隊を取り巻く状況を学習会によって知りました。「自衛隊の在り方を考えたい」や「政治を考えるきっかけになる」と思った人がいました。



企画11「新しい視点・考え方をあなたへ」

CT（クリティカル・シンキング）という考え方をを使って、平和に関する話題について議論しました。「核実験が行われていること・核保有国について」「平和式典は必要か」「戦跡は残すべきか」という難しいテーマでしたが、意見交流を通してたくさんの気づきを得ることができました。

企画12「3地域共通企画」

ここまでの学びを整理して、各地へ戻った時に行動できるようにするため、新聞を作りました。Peace Now! Nagasakiで学んだこと・感じたことに対して、「なぜ？」と深掘りをし、どうやったら伝えたいことが伝えられるかを考えました。

企画13「継承～未来につなぐためにできること～」

被爆二世の白石克文さんより、お母様の被爆体験とともに「後世に伝えていく」ために大切にしたいこととお話していただきました。それを受けて、自分に何ができるかを考える時間となりました。

企画14「あなたにとっての「平和」とは？」

平成の時代を振り返り、現代における平和について提起があり、改めて「あなたにとっての平和とは？」と考えました。1日目に考えていたことと比較して、さらに平和への想いを持つことができました。



● 親子記者（日本非核宣言自治体協議会）より取材されました

長崎市が事務局を務める日本非核宣言自治体協議会は「親子記者事業」に取り組んでおり、今回、秋田市の小学生の親子から取材を受けました。2日目のフィールドワークの一部と一緒に巡りました。そのことについて記事にさせていただいています。ぜひお読みください！

[記事はコチラ](#) ←クリックするとリンクに飛びます。

